（十九日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料（一行五十錢、指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

一本の銀のシガレット

松本純一

あの所謂グント・デヤーマン・デリギブルなるグラーフ・ツエッペリンが此四日世界一周のラスト・コースをフリードリッヒスハーフエンにとゞめを刺したのは何んと言つても大きな歴史であつたに違ひない。

それにしても去る八月十九日の午後三時前後、物見ケ岡に身を挺してやがて平町北方の山上にゆう／＼とその巨艇をうかばせたフエルデナント・フォン・ツエッペリン伯L・Z百二十七號を映大せる瞳脈にみた詩は流石に見知らぬ愛激を唆られた、たゞ一本の銀のシガレットが刷かれた雲間を點綴してゐる一匹の魚の様に游いてゐる時エッケナー博士のげんしくなハンドルをはつきり感じた、越へて二十一日霞ケ浦阿見飛行場の格納庫にツエ伯號を訪れゝ汗と塵にまみれた一般見學者の群れは水兵のメガフォンにつれてわりに小石の多い藍原の草地に列をつくつてゐた

さて格納庫の傍らに佇立してみると素晴らしく大きな家を發見する、殆んどすれ／＼にツエ伯號を抱擁した今のところ用途を失ひそうな格納庫　はあらが妙此の時けばだつた誇りを疊ねたのはどうした譯だつたか

船のあたまと船尾、そして北の側面しか許されてないレールだつたがそれ以上のツエ伯號に就ての實体を描寫することができた

即ち大人氣ない人間の存在が產みつけたところの科學的な結晶に依る人間らしい頭腦の驚異である、そして此の場合平凡な觀察點から受入れられた感情の――ドイツ人の手になつたかドイツ魂とでも言ふのだらうか――テンションこそ羨ましからせた總べてであつた

ふんわりした空氣の中に吼へるやうな、あへぐやうな音響が間斷にわきおこつてゐる、船体の眞ン下ごろで水素ガスの補充をやつてゐるらしいのだ、心持、脹れあがつてゆくかのツエ伯號の心臟とも言へる氣囊の動きをクモの巣のやうなピアノ線針金とデユラルミンの梁に覆はれた外皮を通して靜かに感じられた、また人間の肋骨によく似た横肋材や縦通材の多角形な運動網のうちに思ひもよらない様な通行廊や梯子が上下しゐるのも超然としたツエ伯號自身の動脈ではないか

ゴンドラは案外小さく思はれたが光のある絹のシャツターが柔かく包んでゐて綺麗だつた、ゴンドラの窓いぢつかた久米艶子さんの言つた――可愛い鳥が大きな靴をはいた――とゐふスコットがゐるんぢやないかと覗きた、氣持にもなつた、驚異にたゞ／＼視線が船尾にあるがんじやうな扉を去る時、一つのエンヂン・ゴンドラが時計の振子の様になつかしく揺れたのを今だに忘れられない

ヘーグ賠償案のいかめしい背景のうちに世界をゆしつゝ故郷にその銀色のシガレットをふかしたツエ伯號、偉大な足跡は早やせつかちな地理學者をして世界地圖の改革に血眼させてゐるではないか。

白雲

ビイターワイオ

あの雲には秘密がある
なんといふ白さなんといふやわらかさ
又なんといふ輕さだ
あのなかには秘密がある
まつ青な空に浮くまつ白な雲
あの雲の秘密を
つかみ得るものは幸福だ

一九二九、九、一〇

失戀

ビイターワイオ

池に映つた
顏を
ジツト見つめて
吐息――
俺の葉つぱが
一つ
動きもせずに
浮んでる

一九二七、九、三

明日の吉凶

舊曆八月十八日　新曆九月二十日

▲一白　小成に安んじ易くして持續必に乏しき日なり▲二黑　文書は餘程注意せざれば變ひを殘すことあり▲三碧　小利にくらみて大勢を誤ることゐり出納注意▲四緑　基礎を固め拔らぬとも粘り強くするが吉▲五黄　思はず知らず無理心の生ずる日注意すべし▲六白　正しき道に依れば何事も通達する強運の▲七赤　商事は目上に計りて違算なき様注意すべし▲八白　平和を祈れば無事なれども進展は望めぬ日▲九紫　待ちに待ちたる甘露の日和となるべき吉日

小說

死を超ゆる者

三上於菟吉作
布施平八郎畫

（92）

岩頭の聖女（三）

希望と言ふには餘りに漠然としたものではあつたが死をさへ思はせた暗黒な絶望の胸の底は或微かほの明かりで彩られ始めた。

彼女はたゞ死ぬにしても、村越を通じて勇の身の成行きをきいてからにしても遅くはないと言ふやうな氣になつた。而し、村越が伴れ立つた娘が何人であるかも知らなかつたので、うながし立てられても一寸は急に返事にも迷つたのである。

妙子は何ほ片手を砂濱について首垂れて居る哀れな女の姿をちつと見詰て居たが、やがてこれまでと違つた晴れやかな表情を浮べたいぞ／＼とき子の側へ寄つて列ぶやうにして顏を覗くやうにしながら

「さあ、お立ち遊ばせ、御心配なさることはありません、はやく私の宿へ參りませう、私達は皆んな……あなたや私はこれまでだつてよく知り合ひの筈なんですもの、さあ速くまいりませう」

思ひ掛けぬ朗かな無邪氣な親しな少女の聲をきいてとき子は顏をそむけながらも鈍くうなついた。

「さあ、參りませう、た立ちあそばせ、心配なく」

と娘はとき子の肩に手を掛た、とき子は立ち上つた

ふと氣がついたやうに妙子が言つた

「村越さん、この方とあなたはお知り合ひなのですから私達が昔から知り合ひだし、これからも親しくて行かなければならないと言ふことを聞て上げて下さいな、さうすればきつとお喜びになる筈ですもの、ね」そうぢやありませんか私は眞實にうたしいことよ昔がらの知り合なんですもの」

と娘は態と親切のこもつた、務めてとき子を安心させ氣まづくせしめないやうな心安い話をしながら頻りと其體を立たしめて一時もはやく宿に連往かんことを懇請した。

「ほんとうにさうです、僕はこれまで餘り運命と言ふものを信じなかつたが――」

と村越は言つて立ち上つたとき子を眞直に見ながらつゞけた

「とき子さん。このお嬢さんは江馬君のお知り合の岡田男爵家の妙子さん、妙子さんこの方がとき子さんです」と村越は改めて双方を紹介し合した

とき子はまだ妙子と勇とがどう言ふ關係にあるかをよく耳にしたことがなかつた。而し、新聞で例の事件が喧しくされ始めてから彼の女は或信用ある紙上で親殺しの嫌疑者は親同志が親密な或男爵家の令嬢と許婚仲になつてゐたので其娘の悲嘆が眼も當られないと言ふことを讀んで居た而しらしそう言ふことがあるなら、その正眞な純潔な青年が自分と未來を約束する筈がないと思へたから新聞よりも當然戀人を信じて詰まらない風説だと考へて居たのであつた。けれども今村越からの紹介の言葉を聞いた時、彼の女はその記事を思ひ出した、そして泣き膨れた眼の重たい視線を伏眼勝ちになだらかに延びた利發な少女の姿へと眼を走らせた

ホシ美白粉

最高の白粉

どなたの肌をも自然的に美化し、氣品と艶麗に滿ちた化粧映のするホシ美白粉こそ又、絶對無鉛にて、衛生上よりも、最高の白粉と賞奬さるゝものであります。

ホシ[illegible]水白粉　白・肌・肉色
ホシ美[illegible]白粉
ホシ美[illegible]白粉
ホシ美[illegible]白粉　白・黄・肉色

東京　星製藥株式會社　大阪

レコードハ此のマーク！を

HIS MASTER'S VOICE
TRADE MARK REGISTERED

店員募集

肉聲のビクターレコード
販賣店　會田時計店
平町四丁目（電話三六三番）

特賣!!

たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同優等賞受領

醬油醸造元
鹽屋　山崎合名會社
電話一〇番

內科、小兒科
花柳病科

入院應需

藤沼醫院

平町紺屋町
電話平局五〇七番

外科一般（入院隨意）
內臓外科專門
花柳病科

平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

貸切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い
昭和タクシー
平驛前

電話は
三四三番
サシミ

北海道產の新しい豆

大福豆、青エンド、赤エンド
うづら豆、小豆

先達中新金時豆發賣致しました處、御蔭様で大好評でしたまた一再日中に入箱致します、御用命の程を

豆類、砂糖、薄利多賣主義、何卒御引立の程願上げます。

紺屋町（加納活版所）西隣り
たまき屋商店
田巻隆一

美味にして強壯の効著大
血をふやし肉を肥やす

滋強第一
スッポン飴
本舗　大阪東區谷町壹
檜尾長命堂
各藥舗食料品店ニアリ

スッポン飴　一圓　三圓
スッポン酒　二圓
スッポンヘモクロビン錠　三圓

平町五丁目角
山野邊藥局

企業費二百萬圓を投じ 古河の新坑

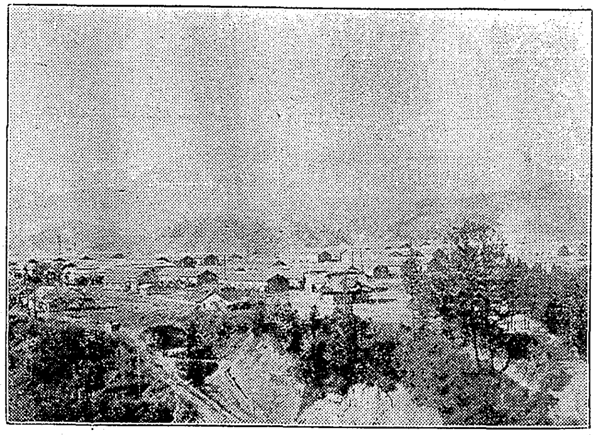
愈々來る十一月初旬に起工式

湊谷係長正式發表

石城郡好間村古河炭礦は去る大正十三年の水没後更らに新斜坑を開鑿し豫期以上の成績を收めてゐたところ去月下旬此の新斜坑の一部に出水あり差まで大なる影響はないにしても將來大々的發展擴張の前提として更に新斜坑の開鑿を企劃決定し今十九日正式に發表した新斜坑は水脈及び炭層その他優良坑としての條件を完全に調査濟みの鑛區にして來る十一月初旬起工式を擧げる事に決定した、新斜坑は運搬坑入道坑に分れ排氣坑を町田橋以北の地點に竪坑を設け最新式の採炭法に則り技術方面は本邦斯界のオーソリチーたる現所長下野十朗氏及び矢野採礦係長が全力を傾注して當り東洋一の模範的新坑を目標に其の成果は斯界の多大なる注目と期待を受けてゐる、右に關し同鑛業所經理係長湊谷定次郎氏は語る

新斜坑は最も有望にして一千五百萬噸の炭量を有し企業費二百萬圓を計上した、下野所長は伊勢に私は成田に參拜守護の祈願をして十一月初旬起工し約八九ヶ月で着炭し一ヶ年年にして商品炭を搬出し得る豫定です、目下起工の準備を急ぎ約二千五六百尺で着炭するが新事業に伴ひ坑夫の不足を告げるので相當募集費を投じ二百名の坑夫を募集し更らに坑夫の納屋十棟（八十竈）の新築を急ぐことに決定した」云々

因に上述の如く古河新斜坑の開鑿により二百萬圓の企業費が約一ヶ年年に撒らされる事となつたから當地方に齎らす直接の福利も大なるものあり新坑着炭後の隆昌に伴ふ發展も地方の爲め喜ぶべきであろう



古河模範坑夫納屋の一部

磐中プール

けふ開き初め

磐城中學校のプール開きは十九日午前十時より開き福島高商、東京高等師範より選手の來場あり午後より各種競技に移り三時閉式した

市場權は賣つたが營業は賣らぬ

荒井署長が膽煎りする

平魚市場問題

平町四丁目魚問屋松崎佐中外二名は從來四丁目鶴屋向ひに空地を設け魚市場を經營して來たが昨年白銀町に株式會社平魚市場が設立したので右四丁目の市場權利（空地に於ける經營を廢止の條件）を三千五百圓で平魚市場に讓渡した、然し松崎外二名は

從來通り 魚問屋を營業し市場類似の商法をしてゐるので株式會社平魚市場では縣に對し右松崎佐平外二名に營業停止の命令方を懇請する處あり從來屢々平署を經て內情調査中の處魚市場として見る事が出來す從つて營業停止などは命じられないが之れが爲め道路を防害し通行人を邪魔してゐることは宜敷くないから注意する樣に

促すべく 今十九日午前十時荒井平署長は松崎外二名を呼び出し種々注意する處あつたが松崎外二名は市場は平魚市場に讓渡したが魚問屋の營業は廢めることは出來ぬと頑張り各方から出て來る魚商人等は平魚市場の口錢一割に對し前記松崎等は七分の口錢で營業してゐるので自然此の方が相當繁昌するので平魚場の打撃も大きく今後とも紛糾は絶いぬ模樣である

植田事件の眞相

小柳內春千代の魂膽（四）

默鐘生

植田町の料亭に於て山崎鈴木、高木、俺の四人が主として平青年正副團長鮫川清遊に關しての相談に花を咲かしたゝけの話で持ち切つてゐたに不拘、あられもなき虛報を福島毎日新聞に報導されたに就いては俺達は唯不可思議に堪えぬものがあつた、唯疑惑とするものは小柳內春千代の素振りだ、多少怪やしき節々があるやうに思はれてならなかつた、唯一つ、春千代の擧動に怪やしき影、それを探ぐりあてればすべては究明されそうな感じがした、高木君は小柳に春千代をたづねて、探偵のような鋭き目を、用意周到な頭の配線を動かして乘込んだ、

高木「春千代、お前は福島毎日新聞に報導された記事を承知してゐるか」

春「承知してゐますとも、それで妾胸がせい〳〵したは」

高木「怪しからん、新聞記事にあるが如き秘密の話はあの場合一言半句もある筈があるか、フザけると承知せんぞ」

春「ソリヤ、妾だつて魂はあるはよ、それには深いわけがあることよ」

春千代はこの際凄い笑をもらした、高木君は何にか其處に譯がありそうに思へたので、小柳の女將を立會へに或る所に春千代、高木、女將の三人が相鼎座して高木君は一々春千代の秘めたる胸中にメスを深く切り込んだ、さすがの春千代もすべてを告白してさめざめと泣くのだつた

×

妖婦春千代が小柳の女將と高木君の前での物語りは次のやうなものだつた

×

成瀨君と春千代が情的關係を結んで以來、彼女は自ら民政藝妓として誇りを感じた程ノールスな藝妓だけに藝妓仲間からも爪はぢされるやうになつてきた、然し政友系に關係した宴會などには春千代はのけものにされてゐた、これは彼女のひがみ根性が働いてゐたことは慥かである

×

或る晩政友系の人だちによつて催された宴會に偶々春千代がよばれた、その時政友會の某氏が戯談半分で春千代に……お前の親たちは寺や、神樣の、のき下に泊りあるいてゐる中にお前を產み落したのだ、そしてお前をこもに包んで捨てられたお前だ……このとりとめなきたはむれ言は春千代の胸をグイと突いた、チエッ……くやしい、いまに見ろ仇を打つ時もあらうはど……春千代の胸にはこの時から何事かをたくらんでゐたのである、それ以來政友派と見る人に對しては誰れ彼れの差別なく毒をふくみ、怨恨深くきざまれて行つたのだつた、それだけ情人成瀨君に對しては心盡しを捧げるやうになれば、春千代自ら民政藝妓として誇りを示してゐたのである

×

折あらば政友派の人だちに恨みを晴らしてやりたい、春千代の念頭は唯この一念によつて心の中は滿たされてゐた、それにつけても春千代に冗談を言つた某氏と密接な關係にある山崎登氏に恨みを晴らせば留飲かさがる、山崎さん、そうだ山崎さんに積る恨みを仕返す事は某有力家に當るも同然だと考へてゐたのであつたしかし機を窺つてゐた春千代は山崎氏の身邊には光の隙も見出せなかつた

×

折も折、時も時八月上旬植田の料亭に山崎、鈴木（林）高木、默鐘の四名が觀歡盡きぬねんごろなる酒盃を交す情景を目の當り眺め見た春千代の恐かな心の中には、こう心へたてなき四人の男はみんな政友派だ、積る恨みを晴らすはこの秋を措いては他にある可らずと春千代の胸中にはあられもなきたくらみを藏したのである、そしてそのたくらみをまことしやかに情人成瀨君に通じて所謂植田渦卷事件なるものが轉開されゝのである、唯この場合成瀨君が輕薄にも如何に愛すればとて春千代の疑言を其儘受け入れて全く根も葉もなき事實を新聞記事として報導せねばならぬといふ哀れな心理經過を一應檢討する

父親と姦通して出來た子を絞殺

武田檢事一行けふ實地へ

死體解陪に附す

石城郡荷路夫村大字大久保農綠川キヨ（四三）は十ケ年前一人娘のキミエ（二三）を殘して夫喜三郎（四七）が死亡したので四年前後婿に同村小野政重（三〇）を入夫したが娘キミエと繼父政重は三年前より畜生道に這入りキヨの眼を盜むで不義を働らく仲となりキミエは遂ひに懷姙し八月三日七ケ月の男兒を分娩したが外聞を恥じ政重と共謀して同六日夜赤兒を絞殺し自宅裏の茶畑に埋めて知らぬ顏でゐたこと植田署の探知する處となり取調べ中の處一切犯行を自白したので平檢事局武田檢事片岡上席書記は藤沼醫師と共に十九日午前八時四十分上り列車にて實地に急行絞殺された死体を解陪に附し關係者を平支部に收容した

植田組頭會

指示と協議事項

植田警察署管內消防組頭會議は去る十六日午前十一時より同署內に開催された、指示事項その他左の如し

△指示事項　火消督勵に關する件　學校當局と協力し子供の弄火防止の徹底を期し併せて家庭の注意を喚起すること

△協議事項　秋期檢閲に關する件　植田、錦、山田は聯合しその他は各村別に十二月上旬行ふこと

消防活動寫眞開催の件　未開催の植田、錦、山田渡邊、田人の各村に於ては今月下旬より來月上旬頃開催に決定

△注意事項　機械器具整備の件　組員任命に際して詮衡の件

納豆屋の賊

平署に捕はる

東京府下北豐島郡赤羽生れ目下住所不定川島五郎（二四）は去月廿九日內郷村御厩納豆屋齋藤セイ方に忍び入り婦人用金時計（代三十圓）を竊取逃走中の處十八日平署に捕はれ目下取調べ中

赤井嶽賑ふ

十二神奉納臨時祭

赤井村赤非嶽十二神講ては十二神像奉納一週年に相當するので來る二十二日（日曜）と二十三日（秋季皇靈祭）兩日午前十時より記念參拜をなし、皇后陛下の御安產を祈願し大護摩の修行をなす由で當日は神樂も仲よく遊むでゐる仲秋御龍燈拜觀旁々參拜者も多かる可しと

逃げる

小僧を轢いて

亂暴な貨物車

平町十五丁目左官佐藤磯八方徒弟佐藤祐吉（一五）は十八日午後四時頃同町紺屋町道路を自轉車に乘つて通行中後方より疾走して來た貨物自動車の爲めハネ飛ばされ幸ひ怪我はなかつたが自轉車が破損し平町に屆出たが有自動車は其の儘逃走したので平署で內偵中

石城各炭礦の安全デー

二十一日に一切

石城郡內に於ける磐城、入山、大日本、三井、鳳島その他大小二十餘の炭坑にては二十一日から行はれる安全デーに際し大々的に從業員の事故防止に努めることゝなり炭礦長屋、坑內外の要所〳〵に多年の考案になるポスターを掲げ又活動寫眞、講演會等も催し事故防止の普及に努むる筈

四倉繭市場

秋繭の取引旺盛

四倉繭市場の十七日の取引左の如く益高値を示しつゝあり

△高値六圓八十三錢、安値五圓八十六錢、買別六圓七十二錢

平署科料一束

全部交通取締違反で

本日即決處分

平署では交通事故殊に自動車事故の頻發に鑑み不斷嚴重なる取締の手を入れ些少でも違反者を發見すれば嚴罰に處してゐるが十九日即決科料を言渡したもの左の如し

四倉町仲町自動車業鈴木光治方運轉手古川勇（二三）は十六日正午內郷村綴地內を定員三名に十名を乘せて科料三圓

□

湯本町自動車業鈴木稻美方猪狩三郎（二九）は十八日午後三時長橋町地內を免許狀を持たずに運轉して科料二圓

□

同上方運轉手菅野正（三〇）は十七日午前十一時內郷村地內の停留所以外の場所で自動車を停めて客待ちして科料二圓

□

錦村字中田荷馬車挽鷲男（二三）は十八日正午ころ內郷村地內を口取りなき荷馬車に乘つて科料二圓

□

前記湯本町鈴木稻美方運轉手菅野正（三〇）は十七日定員五名の自動車に十名を乘せて科料三圓

□

高久村下高久醬油店雇人鈴木四郎（三〇）は十七日午後七時平町月見町地內を無燈火の自轉車に乘つて三圓

□

平町自動車業吉田政之助は十八日ブレーキの利かぬ自動車を運轉手猪狩忠明に運轉させて科料四圓

湯本町の區議選擧

立候補者亂立

石城郡湯本町大字湯本區會議員選擧は十月二日普選法により執行するので定員廿名に對し早くも廿五六名立候補したが期日前には四十五、六名に達する模樣である

青年團体參加

平窪村青年團員江尻正光君は本縣聯合青年團からの神宮式年奉遷特別奉拜者として參加する筈

劇と映畫

竹の子四の替り

聚樂館に大好評を博し毎夜大入滿員の盛況を見てゐる下山竹の子一座の四日目（十九日）替り藝題は左の如し

△笑劇キコーコント二場△悲劇月の下に二場△劍劇運親會津の虎撤△喜劇灰辰一幕

金の要らぬ御人

八十圓と五十圓を落して

拾つた惠比壽顏

濱口內閣の緊縮政策が崇つて世はドン底の不景氣に呻吟してゐる昨今、金の要らない人のある珍らしい話し——平町四丁目マルトモ書店店員松浦美雄（一八）は昨年八月廿四日店頭で現金八十圓在中の財布を拾得した同じく古鍛冶町の峯野ウメ（三〇）は昨年七月廿五日平郵便局前で現金五十圓入りの蟇口を拾得し何れも平署に屆け出た、平署では誰れか遺失主が來るものと待つてゐたが一ヶ年を經過した今日何人も屆出がないので今十九日兩人を呼び出し各々金を拾得者に渡したが世智辛らい世に慾の少い人もあるものだと平署の會計係りも驚ろいてゐる

◎診療開始
耳鼻咽喉科專門　日本醫大醫學士院長　鈴木正男
齒科口腔外科　日本齒科醫學士科長　高橋正永
◎晝夜診療
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前六間通り
鈴木醫院

日本映畫の粹と英國映畫の最高權威との結合
エムエーウーエツゼレル氏監督併に主演完成映畫
◇英國ゴーモン社力作　助演フエイコンプトン共演
ロビンソン漂流記
◇全世界に誇る少年少女必讀必見の物語り映畫化
巨星河部五郎劇界引退記念　特別再上映
助演葛木香一　酒井米子　外オールスターキヤスト
清水次郎長大會
全三篇二十六卷全部上映　日活超々大作品
廿日より上映プログラム
料金普通　土日曜學生デー
平館　電四六六

緊縮と輸入防遏
純國產品で正確堅牢なる
セイコー腕時計を
皆樣へ切に御薦め致します
◎宣傳の爲め抽籤特賣
一等　復興債券（額面百圓）　六十本
二等　蓄音器（三百號市價七十五圓）　百二十本
三等　置時計（八日町マホガニ市價三十五圓）　三百本
四等　目覺時計（角形市價六圓五十錢）　千三百五十本
五等　机上時計（市價二圓廿錢）　五萬八千三百本
（期日十一月三十日迄空籤なし）
特約店　大谷時計病院
電話一一九番

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切叮寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町十五丁目通り
須藤まつの